

# コストダウン・プロジェクト 実践セミナー

～ 成果を出す！目標利益確保を目指して ～

開催日時	2024年 7月 5日(金) 2025年 1月17日(金)	各回とも 10:00～17:00	会場	日本能率協会 研修室 (東京・港区・芝公園)
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業・調達部門の部課長・係長クラスおよび企画担当の皆さん</li> <li>・原価管理、原価企画部門およびコストダウン・プロジェクト推進の皆さん</li> </ul>			
講師	藤田 敏氏 調達科学研 代表	参加料(税込)	法人会員：58,850円/1名 会 員 外：71,500円/1名	

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。  
 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)  
 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>  
 ※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

## 本セミナーのポイント

- ・コストダウン活動とは、会社や事業の目標利益を達成するために、関連部門が連携をして知恵を出し合い原価低減を図るプロジェクト活動です。目標利益を達成するためには売上が必要で、そこからコストを差し引いたものが利益です。ですから、必要なコストをかけて、所定の売り上げを上げなければ、目標利益を確保することはできません。  
つまり、コストダウン活動とはかけるべきコスト(価値を生むコスト)は何かを明らかにすることによって、無駄なコストを顕在化させ、そのコストを削減することに他なりません。
- ・多くの調達部門が抱える「毎期繰り返されるゴールの見えない」コストダウン要請や「達成感がない、利益貢献の手ごたえがない」コストダウン活動から、担当者が生き活きと取り組めるコストダウン活動に向けてどのようにプロジェクトを推進していくべきかを実務経験豊かな講師が解説します。

## 受講者の皆さんへ

コストダウン・プロジェクトの企画書があれば、ご持参ください。

セミナー内容と比較して疑問点等あれば、講師に質問してください。

## ■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:30～13:30

### 第1部 コストダウン理念の確立

#### 1 コストダウン責任を明確に

コストダウンの最終責任は事業単位であるBusiness Unit (BU) です。BUは利益責任を負っています。つまり、売上とコストの両方に責任を持つことによって、利益責任を負っているのです。しかし、外部からの調達品に責任を持っている調達部門は、コストダウン活動の主体であり、その長が、「私の責任ではない」という雰囲気を持つだけで活動は100%失敗します。まず、社内に対して「調達部門が達成責任を持って推進する」という宣言をしなければ関連部門の協力は望めません。

- ・コストダウン達成責任は我にあり
- ・宣言の狙い
- ・言い訳から脱する

#### 2 達成感のあるコストダウン活動の理念

コストダウン(原価低減)とプライスダウン(値引き)は決定的に違うものです。プライスダウンは誰かにシワ寄せがいきますが、コストダウンは本来誰も傷つかないものです。コストダウン活動をどのように捉えるか(理念)は、その活動の進む方向性を決める大変重要な要素です。

- ・初期コスト低減の重要性
- ・定期コストダウンの大義とは何か
- ・業績回復企業がやったこと

### 第2部 成果を出す！コストダウン・プロジェクトの進め方

#### 1 コストダウン目標設定 3つのアプローチ

コストダウン目標は会社の上位目標(目標利益)から展開されます。合理的で客観性のあるコストダウン目標とはどういうものが解説します。

- ・会社の利益目標から
- ・損益分岐点分析から
- ・原価企画から

#### 2 コストダウン施策策定 3つのステップ

設定された目標を達成するには何をしなければならぬか、取り組むテーマを整理する必要があります。ここでは、コストダウン・テーマの切り口を整理し、アクションプランにまとめ上げるステップを解説します。

- ・コストダウン・テーマの洗い出し
- ・コストダウン施策策定とリーダー選定
- ・アクションプランのオーソライズ(関連部門への協力要請)

#### 3 コストダウン施策実現 3つのアクション

コストダウン施策の実現に当たって、最も重要なことは「やらされ感」からの脱皮です。コストダウン・プロジェクト・リーダーはこのことに心を砕かなければなりません。その上で、様々なツールを駆使して、参加メンバー全ての連帯感を創出し、サプライヤを巻き込んで目標達成に向けての熟意と能力を引き出します。

- ・コストの見える化
- ・VE活動(機能定義/機能分析/改善案作成)
- ・プロジェクト活動の活性化

#### 第3部 コストダウン活動に役立つコツ

- ・コストダウンの手法の数々
- ・Design to Cost
- ・プロジェクトの進め方
- ・プロジェクト活動から通常業務への昇華

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

